

企業におけるワーク・ライフ・バランス推進事業【香川県丸亀市】

地域の実情と課題

- ワーク・ライフ・バランス推進に取り組むメリットを認識している企業が半数以上存在する中、特に何の取り組みも行っていない企業が2割弱存在する
- 取り組みを後押しした企業から横展開していく仕組みづくりをし、ワーク・ライフ・バランス推進、女性活躍推進に向けた機運醸成につなげていくことが課題

事業の特徴

- ワーク・ライフ・バランス推進実現のためには、経営者層の職場環境改善への理解とトップダウンで推進する行動力が重要である。事業所が抱える課題をコンサルタントを活用することによって整理し、効果的な支援を行い、地域のロールモデルを作る
- 経営者向けのイクボス研修を実施。コンサルティングサポートにより、職場環境の改善を実践した経営者の体験例なども同時に伝え、ワーク・ライフ・バランス推進の機運醸成を図る

事業の効果

- ワーク・ライフ・バランスを推進しようとしている事業所を支援することにより、地域のロールモデル事業所として紹介できる
- 支援事業所の関係団体を対象としたイクボス研修を実施することにより、イクボスマインドの有効性が研修参加者に伝わりやすいことにより、関係団体内での機運醸成につながり、横展開が図りやすい

目的・目標

- (目的)
市内中小企業でのワーク・ライフ・バランス推進
- (目標⇒達成状況)
 - ・コンサルタン派遣事業所数: 目標6社⇒実績5社
 - ・「香川県子育て行動計画策定企業認証マーク」を取得した市内事業所数: 目標28社⇒実績28社
 - ・イクボス研修会開催: 目標2回⇒実績1回
 - ・イクボス宣言実施企業数: 目標2社以上⇒実績0社

連携団体

- 瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会
委員：丸亀市・善通寺市・琴平町・多度津町・まんのう町の男女共同参画部局・商工労働部局、商工会議所・商工会、香川労働局男女雇用・均等室、丸亀労働基準監督署、ハローワーク丸亀、中讃ケーブルビジョン(株)
アドバイザー：香川県労働政策課

今後の課題

- 数値目標を掲げているが達成できていない項目がある。事業に取り組む企業を増やすために、企業要望と事業効果の関係性を整理し、推進方法を更に検討する必要がある
- イクボス研修の実施団体を支援事業所の関係団体外にも求めるよう努める

事業の概要

①ワーク・ライフ・バランス推進コンサルタント派遣事業

ワーク・ライフ・バランスにスポットを当て、仕事と生活の調和を図るような業務改善を提案するコンサルタントを派遣。

■支援対象事業所

事業社名	業種・従業員数	取り組んだ課題内容
(株)コスモ不動産	不動産業・26人 (男性14人、女性12人)	・業務の属人化 (情報共有が不十分) ・新卒社員の定着率向上
(社)光志福祉会	医療、福祉・199人 (男性43人、女性156人)	・システム活用が不十分 (紙媒体の併用が必要) ・職員不足、定着率向上

■支援内容

毎月1回のコンサルティング（総計17回）、合同勉強会（10/11実施）

■その他

県の事業（2/8開催、働く女性活躍応援セミナー）に2事業所が参加。他社とのつながり、人脈形成にも取り組む。

■思わぬ事業効果

男性社員の育児休業を2事業所とも初めて取得させ、慣行的な働き方、性別役割分担意識から一歩脱却。



◀女性活躍推進講演会にて中間報告のパネル展を実施（参加者203人）

日時 平成30年9月4日(火) 18:30~19:45

場所 丸亀市飯綾商工会綾歌支所 2階研修室

内容 「地元愛あふれる経営者がイクボスになったら、会社は、地域は、どう変わる？」

講師 (株)ファミリーエ 代表取締役社長 徳倉康之氏

参加者 24名

その他 平成29度実施のワーク・ライフ・バランス推進コンサルタント派遣事業に参加した企業経営者が講師からの質問に対し、経営者の意識によって職場環境がどう変化したのか、実体験を踏まえ話すセッションも実施。

②イクボス研修



■参加者アンケートから

「イクボス研修を受けて、職場環境の改善などに取り組んでみようと思いましたが」の質問に対し
⇒88%が「はい」と回答

「取組に障壁となるものは何か」の質問に対し

- ・具体的なやり方。職員の反応
- ・社員とのコミュニケーション不足
- ・トップの考え方
などと回答